

2019年2月発行

安房普及だより

〒294-0045 千葉県館山市北条402-1 TEL:0470-22-8132 FAX:0470-22-0097
ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-awa/index.html>
発行:千葉県安房農業事務所改良普及課・安房農林業振興協議会普及事業部会



鴨川七里®いきいきセミナーにおける実習の様子

幻の枝豆の 栽培方法を学ぶ!

鴨川七里®
いきいきセミナー開催

鴨川七里®とは、鴨川市に古くから伝わる在来の枝豆です。食味が良いため需要はありますが、生産量が少なく幻の枝豆となっています。

そこで、新規栽培者を増やす取組として、生産組織である鴨川七里を育てる会と共に、鴨川七里®いきいきセミナーを開催しました。このセミナーでは、ほ場での実際の作業を通じて、栽培技術を習得してもらうことをねらいとし、講師は栽培経験が豊富な鴨川七里を育てる会の会員が担当しました。セミナー生からは、実践的な技術や工夫をすべて勉強になった、という声が聞かれました。

今後も、安房農業事務所は地域特産物である鴨川七里®の生産を支援していきます。

ソラマメの栽培管理について

かつて安房は県内最大のソラマメ産地でした。今でもその面影を残し、各地域でソラマメの栽培が行われています。せっかくは種したソラマメ、より多くの立派な莢を収穫したいと思いませんか？そこで今回は、より良いソラマメの栽培管理の方法をお伝えします。

1 主枝の摘心

1月中下旬頃に、数本の側枝が発生した後、主枝を5〜7節で摘心します。

2 追肥

2月下旬と3月下旬頃に、追肥を行います。それぞれ窒素成分で10a当たり2〜3kgが目安となります。

3 整枝

開花が始まる3月中旬頃から、生育の良い側枝を6〜8本残し、生育の遅れた枝を元から取り除きます。

4 土入れ

整枝後、余分な側枝の発生を抑えるとともに、倒伏の防止を目的として、株の中心へ畝などを用いて厚さ5cm程度に土を入れ株を広げます。

5 側枝の摘心

莢の肥大を促すため、4月上旬頃に側枝を最下の着莢節位から10〜12節で摘心します（莢を10〜12程度残すこととなります）。収穫40日前が目安となるので、逆算して実施します。

以上1〜5のを行い、より多くの立派な莢を収穫しましょう！



土入れ後のソラマメ

「ストックの定植作業」

経費そのまま、体への負担軽減

ストックを栽培する上で、定植は最も体への負担がかかる作業のうちの一つですが、負担軽減のために、館山市のストック生産者の間で、簡易定植器を用いた「チェーンポット定植」の導入が始まっています（安房普及だより第30号参照）。今回は、従来の方法とチェーンポット定植の経費を比較しました。

表は、は種と定植それぞれについて経費をまとめたものです。慣行法と比較してチェーンポット定植は、チェーンポットやコーティング種子を購入する必要がありますが、資材費がかかりますが、作業時間が少ないため人件費が低く抑えられます。

結果として、は種と定植を合わせた1株当たりの経費の合計は、慣行法6.9円、チェー

ンポット定植6.2円となり、大きな差はありません。体への負担を減らす方法の一つとして、チェーンポット定植を検討してはいかがでしょうか。

は種（水稲用育苗箱1箱・1人当たり）

	株数	作業時間	人件費	資材費			経費計
				種	培土	チェーンポット	
慣行法	200	0.2分	3円	710円	310円	0円	1,023円
チェーンポット定植	264	1.7分	25円	1,050円	310円	223円	1,608円

定植（水稲用育苗箱1箱・1人当たり）

	株数	作業時間	人件費
慣行法	200	24.0分	358円
チェーンポット定植	264	2.2分	33円

は種 + 定植の経費（1株当たり）

慣行法	6.9円
チェーンポット定植	6.2円

表 慣行法とチェーンポット定植の経費比較

種子消毒の徹底

イネばか苗病を防ぎましょう

イネばか苗病は種子伝染性の病気です。育苗時の対策以外には防止策がありませんので、種子消毒が重要です。

鴨川市には約50haの水稲採種ほ場があります。採種ほ場から200m以内にはばか苗病多発ほ場がある場合は種子とすることができません。

温湯消毒や微生物農薬による種子消毒は化学合成農薬に比べると効果は不安定です。温湯消毒と微生物農薬を組み合わせて消毒することで、防除効果を上げることができます。

化学合成農薬（ヘルシード Tフロアブル等）の浸漬処理を行う場合、消毒液の量と種籾の量は規定を守ります。200倍24時間浸漬処理の場合、種子1kgに対し薬液2L以上が目安です。消毒中に、籾袋をゆすり、上下の籾袋を

入れ替えるなど、消毒液が種子籾全体に行き渡るようにしましょう。

消毒液の水温は10～15℃に保ちます。極端な低温は効果低下や薬害の危険があります。水温確保対策を実施の上、実際の水温を確認します。なお、過度の昇温にも留意しましょう。

浸種のはじめの2日間は、種子籾の表面についた薬剤が落ちないように、静水状態を保ちます。その後に行う水交換も、静かに行うようにしましょう。

発病苗を発見したらすぐにその周りの苗も含めて抜き取り、感染の拡大を防ぎます。採種ほ農家では細心の注意を払って対策をしています。周辺農家の皆さまも、対策をお願いいたします。

今年度の農業部門における

表彰者紹介

1 文化の日千葉県功労者

文化の日功労者表彰とは、昭和23年に文化の日が制定されたことから、文化の日に、各方面でそれぞれ顕著な功績を挙げ、県の発展に多大な貢献をされた方々を対象として表彰しています。

今年は、11月3日千葉県庁で「平成30年文化の日千葉県功労者表彰」が行われ、館山市の酪農家の須藤陽子氏が農林水産功労を受彰されました。

須藤氏は（株）須藤牧場の専務として酪農経営や6次産業化に取り組むとともに、酪農教育ファームの活動による体験研修により、子供たちや消費者に食べ物のありがたさなどを伝える活動に取り組むなど、積極的に経営参画しています。

また、ちば県女性農業者ネ

ットワーク理事やちば畜産レディースネットワーク会長、安房女性ネットワーク陽（ひかり）会長などの社会参画活動にも精力的に取り組んでいます。

2 安房農業賞

安房農林業振興協議会では、毎年安房郡市内の農林業に功労のあった人を表彰しています。表彰者は、農林業の生産性の向上や地域農林業の振興に貢献した人を市町長が推薦し、審査を経て決定しています。

今年は、11月29日に千葉県南総文化ホールにて「平成30年度安房農業賞表彰式」が行われ、3名の方が表彰されました。

水野芳徳氏（鴨川市）

行方金次氏（南房総市）

石井長壽氏（安房郡鋸南町）

認証された

指導農業士 紹介

地域の農業後継者へ指導助言活動が出来る優れた農業者を指導農業士として、また、青年農業者の中で地域農業の推進者を農業士として、それぞれ知事が認証しています。今年度は、指導農業士に2名、農業士に3名の方が認証されました。



指導農業士 安藤 真人氏 (南房総市)

飼養管理の徹底による高い乳量の確保と、自給飼料の利用による低コスト化を両立した酪農経営を実現しています。近隣の酪農家や耕種農家との組織的な自給飼料生産を牽引し、地域の中核として周囲から高い信頼を得ています。

須藤 裕紀氏 (館山市)



自給飼料や放牧を取り入れた高品質な牛乳

生産と、加工や酪農体験を含めた多様な酪農経営です。加工品は、敷地内のアイスカフェ等で広く販売を行うほか、研修生や実習生を積極的に受け入れ、熱意を持って農業青年の育成に取り組んでいます。

農業士

田村 臣希氏 (南房総市)



食用ナバナを中心に露地野菜を営んでいます

省力的な出荷形態で、大規模生産による契約販売を行っています。将来の地域産業の中核を担うことが期待されています。

安田 大輔氏 (南房総市)



主にメロンの周年栽培を営まされています

高品質な「千葉アクアメロン」を販売しています。今後も地域農業の中核として活躍が期待されています。

稲葉 修司氏 (南房総市)



カーネーション専作栽培が難しい

品種を作りこなしています。地域のカーネーション生産の活性化に尽力されており、今後、更なる活躍が期待されています。

お詫びと訂正

31号「農業共済の制度改正について」の記事で17行目に「昨年」とありましたが、正しくは「本年」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

農業経営体育成セミナー 平成31年度新規受講者募集

このセミナーは安房地域に住むおおむね35歳までの、就農して間もない若手農業者を対象としています。

毎月1〜2回程度の講義や実習、視察研修により、農業経営に関する知識や技術について3年間段階的に学ぶカリキュラムです。

平成30年度は、23名が受講しています。

農業に取り組む同世代の仲間と交流しながら、楽しく学んでみませんか。

5月下旬頃の開講に向けて、やる気のある新規受講者を募集しています。

お問合せ・申込みは当事務所まで連絡ください。

